

1 はじめに(2)

1.1 教育と豊かさ(5)

1.2 教育現場の成り立ちへ(2)

2 なぜ学ぶことが義務になっているのか(11)

2.1 教育水準と経済水準との関係(3)

2.2 経済発展の影響(6)

2.3 教育年数の長期化(8)

2.4 学歴病(2)

2.5 なぜ教育に公的資金が使われるのか(5)

2.6 なぜ教育が義務化されるのか(6)

2.7 教育は人のためならず(6)

2.8 教育と不平等(3)

2.9 教育と社会学(4)

2.10 教育と社会的不平等(3)

2.11 家庭文化の影響(4)

3 学校という場所はどういう場所か(12)

3.1 学校の内部を調べる(4)

3.2 なぜ学校の内部を調べるのか(3)

3.3 不平等の再生産(8)

3.4 誰が進学を決定するのか(4)

3.5 能力別クラス編成と分類の実際(5)

3.6 どのように分類されるのか(5)

3.7 授業ではなにが行われているのか(1)

3.8 教室の授業の構造(3)

3.9 構造化される授業(6)

3.10 現在の日本での授業研究(5)

3.11 I-R-E連鎖の進行(4)

3.12 さまざまな「社会」の成り立ち(2)

4 おわりに(4)

4.1

4.1

4.2

4.3

4.4